

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	整数（公倍数）
学年	小学校第5学年
目標	整数の性質について、偶数・奇数や倍数・約数の意味を理解し、倍数や約数の求め方を考えたりそれらを使って問題を解決したりすることを通して、整数の見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。
教材タイプ	ビジュアル型プログラミング言語
使用教材	プログル
環境	児童2人で1台の端末を使用
都道府県	徳島県
実施校	横瀬小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>「プログル公倍数コース」のプログラミング学習には事前に、公倍数の学習を行い、その内容を把握した状態で取り組んだ。2人1台のタブレットを児童に配り、2人で相談しながら進めていけるようにした。授業の始めに、プログルの進め方を説明して、後は2人が協力して活動できるようにした。児童は初めてのプログラムということで、積極的に楽しそうに活動した。タブレットを活用することで児童がゲーム感覚で問題を解いていたので、勉強が苦手なゲームが得意な児童も、問題に積極的に取り組んでいた。</p> <p>「これをこうしたら、簡単にクリアできるよ」と言った児童の教え合いの声が聞こえてきて、「プログラミング的思考を身に付けているな」と感じられた。また、「またしたい」という声もたくさん聞こえてきたので、次は「平均」を求める単元で「プログル」を活用して学習していきたい。</p>
成果と課題	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none">・プログルを活用することで、算数が苦手な児童が積極的に楽しそうに学習していたのがよかった。・普段の授業で集中力が続かない児童もタブレットなどの情報機器に触れると、得意そうに操作してプログラムもゲーム感覚で行っていた。学習面で厳しい児童も輝ける環境が増えた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none">・初めてのプログラミング指導ということで、どのように進めて行けば良いのか見通しがもてなかった。・悩んでいる児童に対して、どこまで教えたらいかがわからなかった。・事前に「Hour of code」などの学習教材を使って、プログラミングすることに慣れさせてもよかった。